

2年 社会 シラバス

1 社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

2 教科における重点目標等

- (1) 社会を自ら考えようとする態度を養う。
調べ学習や課題解決学習などを通して社会の諸問題に着目し自ら考える態度を養います。
- (2) 他者と協働して社会的な見方・考え方を養う。
話し合い活動や討論の中で、社会的事情を様々な角度から考察し公正に判断するとともに、課題に対して根拠を持って発言できる場面を設定し適切に表現できる力を養います。
- (3) 社会についての理解を深める。
授業を通して、地理・歴史・現代社会についての知識を広げ、理解を深めます。

3 学力を向上させる方法

- (1) 日常の「なぜ？」を感じよう
日々の生活の中で、「なぜこうなったのだろう？」と感じることを大切にしてください。様々な事象に対し疑問に思う姿勢が、より良い学習につながります。
- (2) メモをとろう
感じた「なぜ？」をメモしておきましょう。また、先生の話や他の人の意見をメモすることも良いですね。様々な見方から社会を見つめましょう。
- (3) 言葉の意味を知ろう
社会科は用語が多いです。ひとつひとつの言葉の意味をしっかりと押さえましょう。目に見えないものを表す言葉を自分で説明できるかどうかポイントです。
- (4) 新聞・ニュースに触れよう
世の中の最新情報に目を向ける姿勢をもちましょう。社会への関心を高めて授業に臨むと、より理解が深まります。生活に役立つ情報がニュースの中で出てくるかもしれません。

4 評価の観点

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	社会的な事象に関して、理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べ、まとめる技能を身に付けている。	・授業中の発言・ノートの記述内容 ・資料分析の内容 ・提出物 ・定期テスト
思考・判断・表現	社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	・授業中の発言 ・ノートの記述内容・提出物 ・定期テスト
主体的に学習に取り組む態度	社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。	・授業中の発言 ・ノートの記述内容 ・定期テスト ・課題への取組

5 家庭学習の仕方

社会科では、残念ながら「覚えること」から避けては通る訳にはいきません。丸暗記するのではなく、出来事や人物の行ったこと等がどのような背景でどのような影響を与えたのかを理解することが大切です。そのヒントは授業での先生の話の中にあります。授業で学んだことを、自分の言葉で説明できるとよいですね。また、本やテレビ、新聞に触れるのも大切です。様々な情報源から情報を集めることも、より深く学ぶことにつながることでしょう。

6 年間学習予定（週3時間 年間105時間）★地理的分野と歴史的分野が中心

	単元名	学習のポイント
1 学 期	地身近な地域の調査	<p><地域調査の手法②・地形図></p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な野外調査方法を学び、計画立てて身近な地域を調査・発表する。 ・地図記号、等高線、縮尺を理解し、地形図を活用するための技能を身につける。
	地世界から見た日本の姿 1 世界から見た日本の自然環境 2 世界から見た日本の人口 3 世界から見た日本の資源・エネルギーと産業 4 世界と日本の結びつき	<p><系統地理-様々な視点から世界と日本を比較する></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界や日本で見られる人口分布の特徴を理解し、生活との関わりを考える。 ・世界や日本で見られる資源・エネルギーや産業の特徴を理解し、生活との関わりを考える。 ・世界と日本がどのように結びついているかを理解する。
	地日本の諸地域 1 九州地方 2 中国・四国地方	<p><日本地誌></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題や環境保全という視点から九州地方を理解する。 ・都市と農村の生活という視点から中国地方と四国地方を理解する。
	歴近世の日本 1 ヨーロッパ人との出会いと全国統一	<p><近世（安土・桃山時代～江戸時代）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人が海外進出に至った経緯と世界への影響を考える。 ・ヨーロッパ人との関わりや全国統一事業による時代の変化を理解する
2 学 期	2 江戸幕府の成立と鎖国 3 産業の発達と幕府政治の動き	<ul style="list-style-type: none"> ・江戸幕府の政治体制の特徴を捉えると共に、鎖国政策までの流れを理解する。 ・産業や都市文化の発達、幕府政治や諸藩の変容について理解する。
	地日本の諸地域 3 近畿地方 4 中部地方 5 関東地方 6 東北地方 7 北海道地方	<ul style="list-style-type: none"> ・古都や近代都市の形成の歴史という視点から近畿地方を理解する。 ・活発な産業という視点から中部地方を理解する。 ・他の地域との結びつきという視点から関東地方を理解する。 ・伝統的な生活や文化という視点から東北地方を理解する。 ・雄大な自然との関わりという視点から北海道地方を理解する。 ・地域区分に沿って学習してきた成果を活かし、日本全体を地理的に大観する。 <p><u>※地理的分野の学習は以上で終了となります。</u></p>
3 学 期	歴開国と近代日本の歩み 1 欧米の進出と日本の開国 2 明治維新 3 日清・日露戦争と近代産業	<p><近代①（江戸時代幕末～明治時代）></p> <ul style="list-style-type: none"> ・欧米列強の進出を背景にした江戸幕末の変動について理解する。 ・新政府の維新政策を理解し、近代日本の特徴を捉える。 ・2つの対外戦争や近代産業の発展がもたらした影響について理解する。 <p><u>※歴史的分野の学習は3年生も続きます。教科書も引き続き使用します。</u></p>